

東小学校は昭和43年4月に小野原、粟生新家、粟生間谷、粟生外院を校区として開校しました。入学式は豊川農協において挙行されました。第一期工事の竣工は6月で17日に落成式と開校式が行われたので、この日を創立記念日としています。

児童数222名、各学年1学級でスタートした東小学校ですが、周辺地域の開発が進み、15年後の昭和58年には児童数が1249名にまでなりました。この頃をピークに児童数は減少に転じ、今年は児童数が600名をきり、586名となっています。

東小学校では豊川北小学校、第六中学校と中学校区での連携を進め、共通した「めざす子ども像」を「かがやく命、ふみだす心、つながる仲間」と設定し、東小学校の特徴の一つである、地域の力を活用しながら取り組んでいます。

住宅地として開発が進んだ校区ですが、箕面東公園や粟生南公園など緑豊かな公園もあります。子どもたちは授業の一環として公園に出かけて自然観察を行ったりしています。授業の中で出かけていける範囲に自然が豊かに残っているのは本当にありがたいことです。学校の運動場周辺の木々も大きく育っていて、日差しの強いときには気持ちのいい木陰を提供してくれています。また、子どもたちが毎日通う校門周辺にも桜やイチョウ、ビワ、カエデなど季節を感じさせてくれる木々が目を楽しませてくれています。そんな楽しみを少しでも子どもたちに気づいてほしいと、学校だよりに意識して書くようにしています。



東小学校校区は学校を中心に新しい住宅地として開発が進んできましたが、40年の歳月の流れとともに状況が大きく変化しています。学校周辺の住宅地は高齢化が進み、現在、東小学校に通っている子どもたちは少し離れた地域に居住している割合が高いという、ドーナツ化現象のような傾向になっています。しかし、この傾向はマイナス面だけではなく、プラス面もあります。定年を迎え、リタイア後、いわゆる地域デビューを果たす方が多く、地区福祉会の活動などに積極的に参加され、その一環として子どもの見守り活動を担っていただいています。また、地区福祉会が中心になって取り組まれている「東小夏まつり」も今年で16回目となります。東小学校の子どもたちを楽しませ、育てようという地域の皆さんの思いが詰まった、心のこもったイベントとなっています。



他にも東小校区青少年を守る会主催の緑豊かな東公園で子どもたちが伸び伸びと活動できる「ぼうけん広場」や、箕面おやじの会が主催し、東小学校の運動場にテントを張って一晩過ごし、楽しむ「わんぱく道場」など地域の皆さんの子どもたちに対する熱い思いが伝わる大きなイベントが盛りだくさんに用意されています。

豊かな自然に生まれ、また、地域の皆さんに見守られ、育てられていることを胸に大切に刻み、20年後、30年後には自分たちがこの地域を活性化していく存在となってくれることを夢見ながら、保護者、地域の皆さんと共に日々の教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

箕面市立東小学校 校長 緒方将隆

..... 箕面を愛する活動グループ紹介 第十八回 .....

“高齢者の活力を生かし、市民生活をサポートする”

## 箕面市シルバー人材センター

会員 1,271 名、平成 23 年 4 月公益社団法人へ移行、 代表者 田村 忠之

網戸の張替えを妻に頼まれたが、体力の衰えからか作業をする気力が湧かなかった。しびれを切らして、シルバー人材センターへ電話依頼し、早々に仕上がって来たので、驚いて作業所を訪れた。

作業所には、指導者を中心にメンバーの方々が、黙々と作業をされていた。何うと、現職の時とは全く異なった作業で、ベテランの指導により徐々に手馴れていった様子だった。チョットの不具合も、鋭い指導者の目が、妥協を許さぬ完璧の仕事をされていた。一見、作業をされている方には厳しいが、依頼した市民の期待を絶対に裏切らない、良い仕事(喜ばれる仕事)を目指している気迫を感じた。

指導者の話によれば、箕面市シルバー人材センターでは、襖の張替え、障子の張替えなど高齢化社会を迎え、元気だった時と異なり、自分で簡単に出来た事がやれなくなったり、枚数が少ないので遠慮する方も多いが、電話一本で駆けつけ、取り外しや、完成後の取り付けなど、多少にかかわらず行うと話されていた。また、依頼先で人材センターが行う、住宅用火災警報器の取り付け、電球、蛍光灯の交換、水道のパ



ッキンの交換、鍵、ドアノブの交換、カーテンレールの取り付け、家具の転倒防止金具の取付け、家具の移動、生垣や庭木の剪定など、従来誰でも手軽に出来た事が、年齢と共に出来難くなり、お年寄りが困っておられたら、担当以外でも「お気軽サポート隊」などに連絡して対応している。つまり元気な高齢者が、より高齢の方々のサポートをする仕組みです。勿論、働く高齢者の勤労意欲と、健康維持も満足されます。

シルバー人材センターは、幼児の保育所への送迎などの子育て支援、介護者のお世話、和洋裁、経理事務、詰め替え作業、店番、駐車場の管理などの他、パソコン教室など広範囲に活躍しています。



# ちょっと、明るい話

## 鍋田川を2中の生徒が清掃

7月19日、一学期の終業日に鍋田川では、運動着姿の男女生徒が、鍋田川の川面に降りて、清掃活動をしていた。この川は、如意谷の神田池や大宮寺池などから流れ出て、如意谷、坊島、稲の田畑を潤す、重要な農業用水路で、ボランティア団体の「箕面鍋田川にホタルを呼びもどそう会」が毎月、清掃活動を続けておられる。

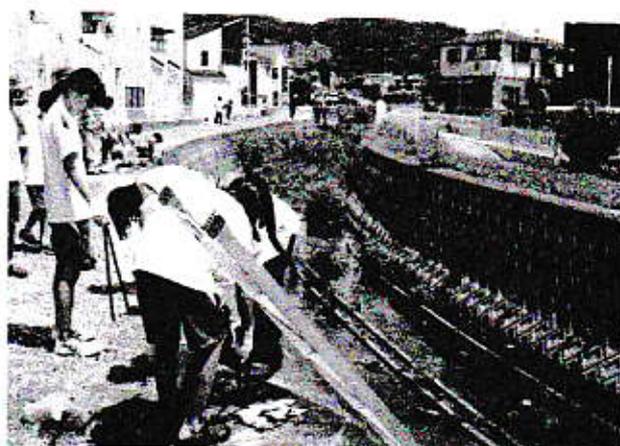


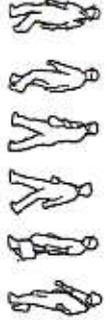
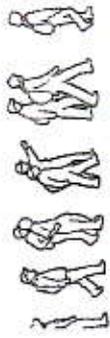
生徒たちの清掃活動は、学習の一環か、自主的なものかは判らないが、若い世代が故郷の風景を、仲間と一緒に触れて、体験することは良い思い出づくりになるだろう

うし、社会奉仕の意味を知り学ぶことも多く、意義のあることと思う。

鍋田川は、先般大規模な河川改修工事が行われ、流水による深みもコンクリートブロックで平準化し、川遊びの危険度も改善された。生徒たちは、川の中のごみや空き缶、ビン類を集めていたが、下水道が完備している箕面市では、汚れの主体は、人々が投げ捨てたものであり、私達一人一人が気を付ければ、無くなるものであることを学んだだろうか。汚れた運動着、靴などを自分でそれぞれ洗濯し、なかなか落ちない汚れに苦勞し、

川を汚すことの重大さに気付いて呉れたらと……………





# タウンウォッチング

私達の住む美しい『みのお』を  
再発見しましょう

みのお市民まちなみ会議では、毎年8回タウンウォッチング(まちあるき)を行い、皆さんと一緒に街を見て歩いております。参加自由ですので、楽しく歩きながら、新しいものを見つけましょう。街歩きは「路上観察」です。街に在る新旧取り混ぜて面白いもの、おかしなもの、引っ掛かるものを歩きながら発見し、箕面の街を楽しく遊んでみましょう。対象は建物から始まって門、塀、屋根、瓦、看板、マンホール、溝、石垣、樹木など歩きながら、見えるものは何でも含みます。今回はまちなみのなかの指定樹木を訪ねてのシリーズ3篇を紹介します。

散策や探訪の参考にして下さい。

まちなみウォッチング 第73回

平尾地区の旧家、中の坂、滝道

2013. 4. 20

## 平尾地区の旧家、指定樹木を訪ねて散策

ウォッチングコース

歩行距離 約4.0km

阪急箕面駅 → 谷田家の分水樋 → 中の坂 → 武藤家(見学) → 西江寺の樅、山桃 → 箕面断層の露頭 → 森秀次の銅像 → 橋本亭、大井堰 → スパーガーデンの樺、粗榧 → ネバーランド箕面の樺、西川家の樺 → 寒山寺の楠 → 正方寺の榎、樺、秋楡(解散)

箕面駅を出発し、中の坂の登り口の角に「大井堰水路の分水樋」があります。多くの方は見慣れた風景ですが、水路の通る谷田家の屋敷内は、開水路か暗渠なのか疑問に思いませんか。そこで谷田家のご主人に邸内を案内して頂き、参加者は驚きと共に納得した。(どうだったのでしょうか)



中の坂を登った。この急坂は



大阪から瀧安寺への参詣道で、登り詰めた左手に長屋門と釣瓶の井戸が在る武藤家をお尋ねし、旧家の歴史をお話し頂いた。武藤家はかつて油屋で菜種油を商っていた。名残の大きな瓶が庭にいくつも残っていた。また、風呂